

令和6年度用小学校音楽

---

## 指導計画案 (2024.2.29)

株式会社 教育芸術社

### 【本資料について】

- 本資料は、教育芸術社発行の令和6年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈104～604〉」に基づいて作成されています。(用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。)

### 【本資料の扱い方について】

- 扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、教材の選択や学習活動に軽重を付けるなどの調整を適宜行ってください。
- ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- 本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

### 【2学期制への対応について】

- 本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

題材名	1. 音楽で心をつなげよう	扱い時数の目安
		6時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲の感じを生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>小学校生活を2年間過ごし、3年生となった子供たちは、中学年として新たな学校生活のスタートを切ります。この学年はクラス替えが多くみられ、新しい友達との出会いがあることでしょう。</p> <p>学年最初の本題材は、これから始まる3年生の音楽の授業に、子供たちが進んで取り組むことができるようにするため、友達と声を合わせて歌ったり拍ののってリズムを打ったりする学習を展開します。</p> <p>歌唱教材「ハッピーソング」では、明るく楽しい曲調ののって、学級全員で声を合わせて歌う楽しさを味わいます。「リズムでなかよくなるう」では、2年生までに積み重ねたリズムの学習を楽しみながら復習し、さらにその力を土台にして、指導者や友達が打つリズムを模倣する活動を通して拍節感やリズム感を育てます。この学習を常時活動として扱い、少しずつ積み重ねることにより、合わせて歌ったり演奏したりする技能を高めたり、リズムを中心とした音楽づくりに生かせる発想を得たりすることにもつながります。</p> <p>そして、春の様子を歌った「春の小川」「茶つみ」では、歌詞を読んで様子を思い浮かべたり、手遊びを通して曲の面白さを感じ取ったりしながら、友達と気持ちを込めて歌う活動を進めていきます。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)、ウ(ウ)</p> <p>[共通事項]*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、リズム、旋律、拍、フレーズ</li> <li>・音符、休符、記号や用語 ブレス</li> </ul>		

※・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み  
・音符、休符、記号や用語

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p>	<p>思① 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思② リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	<p>態① 曲の感じを生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(歌)</p>

\*「リズムでなかよくなるう」は声を合わせて歌う学習につなげるリズムの活動のため、本題材では器楽の評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
友だちと声を合わせて歌い ましょう。	○ハッピーソング (そだてよう)リズムでなかよくなるう	1  2	●曲想と歌詞の内容や旋律の特徴との関わりに気付いて歌う。  ●\歌う/ 曲に合った歌い方を考え、自分の声と友達の声聴きなが ら声を合わせて歌う。	◆曲の感じを生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協 働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。
春の様子を思いうかべて、 歌い方をくふうしましょ う。	(共)春の小川	3  4	●\見つける/ 歌詞の様子を思い浮かべながら歌い、旋律の特徴に気付 く。  ●\考える/ 歌詞の表す様子や旋律の特徴に合う歌い方を考える。  ●\歌う/ 旋律と歌詞の特徴に合う歌い方で表現する。	◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】  ◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思①【発言内容、ワークシート】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自 然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】
曲のかんじを生かして歌い ましょう。	(共)茶つみ	5  6	●\見つける/ 歌に合わせてリズムを打ち、曲の面白さを感じ取る。  ●\考える/ 曲に合った歌い方を考えて表現する。  ●\歌う/ 曲の感じを生かして明るい声で歌う。	◆リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を 捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思②【発言内容、演奏聴取】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自 然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】

題材名	2. 歌って音の高さかんじとろう	扱い時数の目安
		4時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱や範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして表現する技能や、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律、音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 音の高さを感じて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、読譜に親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>学習指導要領において、低学年ではリズム譜を見て演奏することが求められ、それ以外の楽譜を見て演奏することについては求められていないため、範唱をまねて歌う模唱や、旋律を階名でまねて模唱したり暗唱したりする階名模唱や階名暗唱を中心に学習を重ねてきました。</p> <p>3年生からは、低学年で身に付けてきた音程感覚をさらに高めるとともに、ハ長調の楽譜を見て歌詞や階名で歌ったり楽器を演奏したりする視唱や視奏の活動を段階的に進めていくこととなります。</p> <p>この題材では、ハ長調でつくられた教材を取り上げています。明るい歌声で歌う学習を通して、楽譜を見て歌ったり演奏したりする活動に慣れ親しむことができるように進めていきましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱<b>ア、イ、ウ(ア)</b>(ウ) (2)器楽<b>ア、イ(ア)</b>(イ)、<b>ウ(ア)</b>(イ)(ウ)</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素※ <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、<b>旋律</b>、音階</li> <li>イ 音楽の縦と横との関係</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語 <ul style="list-style-type: none"> <li>ト音記号、五線と加線、縦線、終止線、小節</li> </ul> </li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、核となるものについては、太字で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①技 思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱や範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。(歌・器)</p> <p>②知 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。(歌・器)</p>	<p>思① 音色、旋律、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。(歌・器)</p>	<p>態① 音の高さを感じて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の高さに気をつけながら、歌ったりえんそうしたりしましょう。	○◇ドレミで歌おう (そだてよう)ドレミと友だちになろう	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハ長調の楽譜を見て、音符の五線上の位置と階名の関係に気付く。</li> <li>●\歌う/ 音の高さを確かめながら、階名視唱する。</li> <li>●\えんそうする/ 音の高さに気をつけながら、鍵盤楽器で演奏する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●提示された音符の階名を読んで、鍵盤楽器で演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱や範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</li> <li>①技【演奏聴取】</li> </ul>
楽器と合わせて、明るい声で歌いましょう。	○◇海風きって	2    3   4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●\見つける/ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>の旋律の特徴に気付く。</li> <li>●\えんそうする/ 音の高さに気をつけて階名視唱し、鍵盤楽器で演奏する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な記号の名前を確認し、音符やト音記号を書く。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●\考える/ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>の組に分かれて歌ったり演奏したりして、それぞれの特徴を生かすための工夫を考える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●\歌う\えんそうする/ 互いの音を聴き合いながら、学級全体で演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</li> <li>②知【発言内容、行動観察】</li> <li>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気をつけて、旋律楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。</li> <li>③技【演奏聴取】</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆音色、旋律、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。</li> <li>思①【行動観察、発言内容、演奏聴取】</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</li> <li>④技【演奏聴取】</li> <li>◆音の高さを感じて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>態①【行動観察、発言内容、ワークシート】</li> <li>※第1時から第4時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</li> </ul>

題材名	3. リコーダーのひびきに親しもう	扱い時数の目安
		8時間
題材の目標	<p>(1) リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する基本的な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、リズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) リコーダーの音色や演奏の仕方に親しむ学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>前の題材から始まったハ長調の学習とともに、3年生において重要な学習の一つであるリコーダーの学習が始まります。</p> <p>この題材ではその導入として、ヘッド ピースを使った音遊びを通して音色に親しみます。そして、楽器の支え方や運指、音の出し方や息づかいなどの基本的な演奏の仕方について、左手の運指のみで演奏できるシ、ラ、ソ、<math>\bar{ド}</math>、<math>\bar{レ}</math>の五つの音を使った教材を用いながら、段階的に学習を進めていきます。</p> <p>指導に当たっては、子供たちが知っているリコーダー曲「ピタゴラスイッチ」の鑑賞の学習をきっかけに、リコーダーやその音色への興味を引き出します。そして、いろいろなリズムをシの音で演奏したり、身近なものの音まね遊びをしたりしながら、基礎的な演奏の仕方を楽しく学んでいきます。また、演奏家やキャラクターによるワンポイントアドバイスを掲載し、子供たちが主体的に学習を進められるようにしています。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (2)器楽ア、イ(イ)、ウ(ア)(イ) (3)音楽づくりア(ア)、イ(ア)、ウ(ア)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、リズム、旋律</li> <li>・音符、休符、記号や用語 付点2分音符、付点4分音符</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>②知 リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。(器)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p>	<p>思① 音色、リズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p>	<p>態① リコーダーの音色や演奏の仕方に親しむ学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(器・鑑)</p>

\* 「ヘッドピースで音あそび」「いろいろな音であそぼう」はリコーダーの音色に親しんだり運指を身に付けたりする学習につなげる音遊びの活動です。そのため、本題材では音楽づくりの評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
はじめましてリコーダー  リコーダーと友だち タンギングと息の使い方	☆ヘッド ピースで音あそび ♪小鳥のために (参考曲)  ♪ピタゴラスイッチ (そだてよう)いろいろなシの音であそぼう	1  2	●リコーダーの音色に興味をもつ。  ●見つける/ リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気を付けながら、音楽を聴く。	◆曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容、ワークシート】
タンギングに気をつけてきれいな音でふきましょう。	◇ふいてみよう①(シ・ラ) / わらべうたにちょうせん! / ふいてみよう②(シ・ラ・ソ) / きれいな ソラシ	3  4  5	●見つける/ 音色や響きに気を付けて、ラの運指を覚えて吹く。  ●見つける/ 音色や響きに気を付けて、ラとソの運指を覚えて吹く。  ●えんそうする/ 運指とタンギングが合うように気を付けて演奏する。	◆リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ②知【演奏聴取、発言内容、ワークシート】
息の使い方に気をつけて歌うようにふきましょう。	◇坂道 (そだてよう)いろいろな音であそぼう ◇雨上がり	6  7  8	●考える/ 音高に合った息の強さを試して、曲想に合うように吹き方を工夫する。  ●えんそうする/ 下の運指を覚えて、息の強さとタンギングが合うように演奏する。  ●えんそうする/ 下とレの運指を覚えて、息の強さとタンギングが合うように演奏する。	◆音色、リズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思①【行動観察、ワークシート】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【行動観察、演奏聴取】 ◆リコーダーの音色や演奏の仕方に親しむ学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、ワークシート】 ※第1時から第8時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	4. 拍にのってリズムをかんじとろう	扱い時数の目安
		9 時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、拍にのって互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて、音を合わせて演奏する技能、反復や変化を用いて、まとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、旋律、拍、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 拍子やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくりの学習活動に取り組む。</p>	
題材の意図	<p>この題材では、低学年で身に付けてきた拍やリズムに対する感覚、またそれらを表現するための能力をより伸ばしていくことに重点を置いて学習を進めていきます。</p> <p>拍を感じ取りながら、音や気持ちを合わせて演奏する活動は、高学年に向けて、息の合った美しい合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものです。</p> <p>リズムの特徴が異なるパートを合わせて表現することや、拍子の違いが曲想と関わりがあることに気付くこと、「三三七拍子」のリズムを基に、反復や変化を生かして音楽をつくる学習を通して、まとまりのあるリズムや旋律が生み出す面白さを感じ取りながら、思いや意図をもって表現していきます。</p> <p>各教材の学習において、友達と拍を共有しながら表現することを大切に、必要に応じて、「1.音楽で心をつなげよう」の常時活動「リズムでなかよくなるう」を活用し、子供たちの主体性を引き出しながら学習を進めていきましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A 表現 (1) 歌唱イ、ウ(ア) (2) 器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>(3) 音楽づくりア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、リズム、旋律、拍、フレーズ</li> <li>イ 反復、変化</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語                     <ul style="list-style-type: none"> <li>4分の2拍子、4分の3拍子、4分の4拍子、タイ</li> </ul> </li> </ul>	

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(器)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>④知 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。(づ)</p> <p>⑤技 思いや意図に合った表現をするために必要な、反復や変化などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)</p>	<p>思① リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思② 音色、旋律、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思③ リズム、拍、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(づ)</p>	<p>態① 曲想と拍やリズム、旋律などとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(器)</p> <p>態② リズムのつなげ方、反復や変化によるよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(づ)</p>



学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
2拍子にのってえんそうしましょう。	◇○ゆかいな木きん	1・2  3  4	<p>●\見つける/ 拍にのって歌ったり演奏したりしながら、リズムや旋律の特徴を捉える。</p> <p>●\考える/ 各パートの旋律の特徴を生かした演奏の仕方を工夫する。</p> <p>●\えんそうする/ 互いの音を聴き合いながら、拍にのって合奏する。</p>	<p>◆曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思①【発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②技【演奏聴取】</p>
拍子のかんじを生かしてえんそうしましょう。	◇○あの雲のように ◇○アチャ パチャ ノチャ	5  6  7	<p>●\見つける/ それぞれの曲の拍子やリズム、旋律の特徴の違いを感じ取って演奏する。</p> <p>●\考える/ 拍子やリズム、旋律の特徴の違いを生かした演奏の工夫をする。</p> <p>●\えんそうする/ 楽器の音色や響きに気を付けて、曲想を生かして演奏する。</p>	<p>◆音色、旋律、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思②【発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【演奏聴取】</p> <p>◆曲想と拍やリズム、旋律などとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容】 ※第1時から第7時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>
くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう。	☆手拍子でリズム	8  9	<p>●\見つける/ まとまりのあるリズムの仕組みに気付く。</p> <p>●\つくる/ まとまりのある4小節のリズムをつくる。</p> <p>●\考える/ 反復や変化を生かして、まとまりのある4小節のリズムをつくる。</p>	<p>◆音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ④知【発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、反復や変化などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ⑤技【演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆リズム、拍、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 思③【発言内容、演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆リズムのつなげ方、反復や変化によるよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態②【行動観察、演奏聴取、ワークシート】 ※第8時から第9時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	5. せんりつのとくちょうをかんじとろう	扱い時数の目安
		7 時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、旋律の特徴を生かした表現に親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、低学年から育ててきた音楽に対する感性を高めながら、音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴を感じ取ったり、その特徴によって生み出される曲想を捉えたりしながら学習を進めていきます。</p> <p>学習を進めるに当たっては、音楽に合わせた体の動きや楽譜上の音符を手掛かりにして、旋律の特徴や、音の上がり下がりが生み出す曲の山を感じ取ったり、歌詞の表す様子と感じ取った旋律の特徴との関わりを考えたりしながら、それを生かした歌い方を工夫していきます。</p> <p>その際、歌詞の内容やフレーズを基に、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能や、互いの歌声や音を聴き合いながら演奏する技能も育てていきましょう。</p> <p>鑑賞の学習では、旋律の音の上がり下がりやリズムの違いが生み出す特徴を聴き取り、それを踏まえて曲全体を味わって聴くことができるようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A 表現 (1) 歌唱 <b>ア、イ、ウ</b>(ア)(イ)(ウ) (2) 器楽 <b>ア、イ</b>(ア)、ウ(イ)(ウ)</p> <p>B 鑑賞 <b>ア、イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、リズム、<b>旋律</b>、強弱、フレーズ</li> <li>イ 反復</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①知 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>②知 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p>	<p>思① リズム、旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思② 音色、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	<p>態① 旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつの音の上がり下がりに気をつけて歌いましょう。	○◇とどけよう このゆめを	1	●\見つける/ アとイの旋律の特徴に気付く。	(◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。) (②知【行動観察、発言内容】) ※②知の評価は第5時の「ふじ山」で記録に残しますが、ここでは補助的な評価を行うため、特別に( )で示しています。
せんりつの音の上がり下がりに気をつけてききましょう。	♪メヌエット	3	●\見つける/ 旋律の音の上がり下がりに気をつけて、アとイの旋律を聴き比べる。	◆曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【ワークシート、発言内容、行動観察】
曲の山をかんじながら歌いましょう。	(共)ふじ山	4	●\考える/ 友達と意見を交換し合い、曲全体を味わって聴く。	◆リズム、旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思①【ワークシート、発言内容】
曲の山をかんじながら歌いましょう。	(共)ふじ山	5	●\見つける/ 歌詞の内容や旋律の特徴を手掛かりに曲の山に気付く。	◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ②知【発言内容】
曲の山をかんじながら歌いましょう。	(共)うさぎ	6	●\考える/ 曲の盛り上がりを生かした歌い方を工夫する。	◆音色、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思②【発言内容、ワークシート、演奏聴取】
曲の山をかんじながら歌いましょう。	(共)うさぎ	7	●\歌う/ 曲の山に向けて、盛り上がりが伝わるように歌う。	◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ③技【演奏聴取】
日本に古くからつたわるせんりつのよさをかんじとって歌いましょう。	(共)うさぎ	7	●\見つける/ 歌詞や「十五夜のお話」を読んで、曲想を感じ取る。 ●\考える/ 旋律の特徴を生かし、曲想に合う歌い方を工夫する。 ●\歌う/ 声の出し方や発音に気をつけて、曲の山を生かして歌う。	◆旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【発言内容、ワークシート】 ※第1時から第7時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	6. せんりつの重なりをかんじとろう	扱い時数の目安
		6 時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、音色や旋律、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、音の重なり、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の重なりに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、歌声や楽器の音が重なり合うことで生まれる響きを感じ取り、それを基に、互いの歌声を聴き合いながら歌ったり、旋律や楽器の音が重なり合う面白さを味わいながら鑑賞したり合奏したりします。</p> <p>短い音型が繰り返されるオスティナートが加わった曲の教材性を生かして、旋律の重なりに注目しながら表現と鑑賞の学習を進めます。歌唱教材では、“ランランラン”の音型を繰り返すことで簡単な二部合唱の体験をすることができるため、互いのパートの声を聴きながら声を合わせて歌う技能を育てていくようにしましょう。</p> <p>器楽教材では、鑑賞教材と歌唱教材で学習したことを踏まえて、斉奏と二部合奏それぞれの旋律の重なりが生み出す響きの面白さを感じ取りながら、二部合奏の楽しさに気付くことができるようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A 表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ウ) (2)器楽ア、イ(イ)、ウ(ウ)(イ)(ウ)</p> <p>B 鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色、旋律、強弱、音の重なり</li> <li>イ 反復</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>②知 曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>④知 リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。(器)</p> <p>⑤技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p>	<p>思① 音色、旋律、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思② 旋律、強弱、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思③ 音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p>	<p>態① 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつの重なりを楽しみながら、きいたり歌ったりしましょう。	♪か ね ○歌おう 声高く	1   2   3	<p>●\見つける/ 旋律の特徴や反復、強弱の変化、音の重なりに気を付けて聴く。</p> <p>●\見つける/ 旋律の特徴や反復、音の重なりに気付く。</p> <p>●\考える/ 二つの旋律の重なりについて考え、歌い方を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 互いの歌声を聴き合いながら、二つの旋律を重ねて歌う。</p> <p>●\考える/ 曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>①知【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>②知【発言内容】</p> <p>◆音色、旋律、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思①【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③技【演奏聴取】</p> <p>◆旋律、強弱、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>思②【発言内容、ワークシート】</p>
せんりつの重なりをかんじとってえんそうしましょう。	◇メリーさんのひつじ (そだてよう)リコーダーのひくい音である そばう (教科書 P. 49)	4  5   6	<p>●\見つける/ リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付く。</p> <p>●\考える/ 重なり合う音の響きに気を付けて、演奏を工夫する。</p> <p>●\えんそうする/ 互いの音を聴き合い、演奏する。</p>	<p>◆リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付いている。</p> <p>④知【行動観察、発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思③【行動観察、発言内容】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑤技【演奏聴取】</p> <p>◆旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【行動観察、発言内容】</p> <p>※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	7. いろいろな音のひびきに親しもう	扱い時数の目安
		9 時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴や、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、音楽づくりの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、音色を中心に、旋律や音の重なり、音楽の仕組みなどと曲想との関わりを取り上げながら、表現と鑑賞の学習を進めます。</p> <p>鑑賞の学習においては、旋律が反復される曲の特徴を捉えるとともに、金管楽器の音色に着目して、それぞれの楽器の固有の音色の美しさも味わって音楽を聴くことができるようにします。</p> <p>また、器楽の学習においては、リコーダーや鉄琴、低音楽器など異なる音色の楽器が重なり合う響きを味わうとともに、互いの音を聴き合いながら演奏することができるようにします。学校や子供の実態に応じて、リコーダーの低いレとドの運指は確認するだけにとどめて、リコーダー2のパートは省略することを考えてもよいでしょう。</p> <p>音楽づくりの学習に当たっては、身近な打楽器の音色の違いを感じ取ったり、音の重ね方による響きの違いに気付いたりしながら、表現の仕方を工夫してきた学習経験を踏まえ、ここでは自分なりのイメージやアイデアを基に打楽器の音の響きやその組合せを試したり、それらの重ね方やつなげ方を工夫したりして、音楽の仕組みを生かした音楽づくりの学習を展開します。音や言葉によるコミュニケーションを用いて、自分の発想を友達と共有したり、友達の発想から自分の音楽を見直したりして、音楽づくりの発想を広げていくようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A 表現 (2) 器楽ア、イ(7)(イ)、ウ(7)(イ)(ウ) (3) 音楽づくりア(7)(イ)、イ(7)(イ)、ウ(7)(イ)</p> <p>B 鑑賞 ア、イ</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色、旋律、強弱、音の重なり</li> <li>イ 反復、呼びかけとこたえ</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>②知 曲想と音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(器)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>④知 いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。(づ)</p> <p>⑤技 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)</p>	<p>思① 音色、旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思② 音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思③ 音色、強弱、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。(づ)</p>	<p>態① 金管楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。(鑑)</p> <p>態② 楽器の音が重なり合う響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組みようとしている。(器)</p> <p>態③ 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組みようとしている。(づ)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時間 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
トランペットの音色に親しんでいきましょう。	♪トランペットふきの休日 ♪よるこびの歌 (参考曲)	1  2	●\見つける/ トランペットの音の出る仕組みを知り、音色や旋律の反復と曲想との関わり気付く。  ●\考える/ トランペットの演奏のよさや曲の面白さを見だし、曲全体を味わって聴く。  ●金管楽器の音色や重なり合う音の響きを感じ取って聴く。	◆曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】  ◆音色、旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思①【発言内容、ワークシート】 ◆金管楽器の音色や旋律の特徴と曲想との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、ワークシート】 ※第1時から第2時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。
重なり合う音のひびきをかんとりながら合奏しましょう。	◇パフ	3  4  5  6	●拍にのり、音色や旋律の特徴に気を付けて主な旋律を演奏する。  ●\見つける/ 曲想と音色、旋律、音の重なりとの関わり気付く、各パートの旋律を演奏する。  ●\考える/ 各パートの特徴を生かし、バランスよく聴こえる演奏の仕方を工夫する。  ●\えんそうする/ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。	◆曲想と音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、発言内容】  ◆音色、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思②【発言内容、演奏聴取、ワークシート】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【演奏聴取】 ◆楽器の音が重なり合う響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 態②【行動観察、発言内容、演奏聴取、ワークシート】 ※第3時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。
時間のながれに合わせて、音楽をつくりましょう。	☆クロック ミュージック	7  8  9	●\見つける\考える/ 即興的に表現し、打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴に気付く。 ●\見つける/ グループの音楽のつくり方を知る。  ●\考える/ グループの音楽の音の重ね方やつなげ方を工夫する。  ●\つくる/ 楽器の音色や重なり合う音の響きを生かして、グループの音楽をつくる。	◆いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ④知【行動観察、発言内容】  ◆音色、強弱、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。 思③【行動観察、発言内容、演奏聴取、図形楽譜】  ◆発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ⑤技【行動観察、演奏聴取、図形楽譜】 ◆打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態③【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ※第7時から第9時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	8. ちいきにつたわる音楽でつながろう	扱い時数の目安
		5時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりや、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音の上がり下がりを感じ取って、旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 祭り囃子に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組み、郷土に伝わる音楽に親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、音色やリズムなどに注目して祭り囃子を鑑賞し、郷土に伝わる音楽に親しみながら、その雰囲気や特徴を感じ取ることができるよう学習を進めていきます。一部の楽器のパートを唱歌（口唱歌）で歌う体験を通して感じたことや気付いたことを発表し合うことで、より親しみをもって祭り囃子を聴くことができるように教科書は構成されています。3年生の子供たちが、郷土に伝わる音楽のよさや特徴に気付き、親しみをもてるようにしましょう。</p> <p>また、音楽づくりの学習では、ハ長調の音階の旋律とは異なる雰囲気を感じ取りながら、ラ、<math>\bar{\text{ド}}</math>、<math>\bar{\text{レ}}</math>の三つの音を使った旋律づくりを行います。教科書では、リコーダーの習熟を兼ねて、リコーダーを用いて旋律をつくる学習を示していますが、地域や学校の実態に応じて、篠笛や箏などの和楽器を用いて展開することも考えられます。子供たちの興味を引き出しながら学習を進められるように、地域との連携も考えていくようにしましょう。</p> <p>この旋律づくりの学習は、4年生では日本の音階の音、5、6年生では和音の音を使った旋律づくりの学習へとつながっていきます。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (2)器楽ア、イ(イ)、ウ(イ) (3)音楽づくりア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、リズム、速度、旋律、拍</li> <li>イ 変化</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①知 曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>②知 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。(づ)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。(づ)</p>	<p>思① 音色、リズム、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、祭り囃子や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思② 速度、旋律、拍、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(づ)</p>	<p>態① 音色、リズム、速度に着目して祭り囃子の音楽を聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)</p> <p>態② ラ、<math>\bar{\text{ド}}</math>、<math>\bar{\text{レ}}</math>の三つの音を使った旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(づ)</p>

\* 「しめだいこを打ってみよう」は発展的な学習活動のため、本題材では器楽の評価規準を設定していません。



学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
祭りばやしのとくちょうをかんじとりましょう。	♪神田囃子「投げ合い」 (チャレンジ)ちいきにつたわる祭りばやしを調べよう	1  2  3	<p>●\見つける/ 神輿を担ぐ人たちの、祭りの気分が盛り上がっていく様子を想像しながら聴く。</p> <p>●\見つける/ 締太鼓のリズムを、唱歌（口唱歌）で歌ったり、打ったりする。</p> <p>●\考える/ 祭り囃子の音楽のよさや面白さを感じ取りながら、締太鼓の音に気を付けて「投げ合い」を聴く。</p> <p>●\チャレンジ/ 身近な地域に伝わる祭り囃子を調べ、その特徴を感じ取る。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、ワークシート】</p> <p>(◆曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりについて気付いている。) (①知【行動観察、演奏聴取】) ※①知の評価は主に第1時で記録に残しますが、第2時に補助的な評価を行うため、( )で示しています。</p> <p>◆音色、リズム、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、祭り囃子や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思①【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆音色、リズム、速度に着目して祭り囃子の音楽を聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【発言内容、ワークシート】 ※第1時から第2時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>
3つの音で、自分たちのおはやしをつくりましょう。	☆ラ <sup>レ</sup> の音でせんりつづくり (チャレンジ)しめだいこを打ってみよう	4  5	<p>●\つくる/ 三つの音とリズムを使い、4分の4拍子で2小節の旋律をつくる。</p> <p>●\見つける/ 友達のつくった旋律が、どのような音の動きになっているのかを確かめる。</p> <p>●\つくる/ 四人組で、それぞれがつくった旋律をつなげ、8小節の旋律をつくる。</p> <p>●\考える/ 音楽のまとまりを意識して、旋律のつなげ方を工夫する。</p> <p>●つくった旋律を演奏し、発表し合う。</p>	<p>◆音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。 ②知【行動観察、演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆速度、旋律、拍、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 思②【行動観察、演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。 ③技【行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆ラ、下、レの三つの音を使った旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態②【行動観察、演奏聴取、ワークシート】 ※第4時から第5時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	9. 思いを音楽で表そう	扱い時数の目安
		6時間
題材の目標	(1) 曲想と音色や旋律、フレーズなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	
	(2) 音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。	
	(3) 自分の思いを音楽で表現することへの興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、友達と協力して表現の工夫をする態度を育む。	
題材の意図		
<p>3年生最後の本題材では、これまでの学習のまとめとして、音楽的な見方・考え方を働かせて、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを考え、思いをもって表現を工夫します。</p> <p>歌唱教材では、歌詞の表す様子や、旋律の反復や伴奏の変化が生み出す曲想の変化を感じ取って、それを歌い方の工夫に結び付けていきます。</p> <p>器楽教材は、「パフ」と同様の教材性をもっています。ここでは、音の重なりを楽しむことに加えて、旋律の特徴やフレーズを生かした演奏をするためにはどうしたらよいかを友達と考えながら、豊かな表現を目指しましょう。</p> <p>4年生へのステップアップとして、感じたことや気付いたことなどを互いに伝え合い、音楽の楽しさや演奏のよさに気付く能力も伸ばしていくようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(イ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、旋律、音の重なり、フレーズ</li> <li>・音符、休符、記号や用語 全音符</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と音色や旋律、フレーズなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>③知・技 曲想と音色や旋律、フレーズなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p>	<p>思① 音色、旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思② 音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p>	<p>態① 自分の思いを音楽で表現することへの興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
歌詞の表す様子を思いうかべながら、曲のかんじを生かして歌いましょう。	○帰り道	1  2	<p>●\見つける/ 曲想と歌詞の内容や旋律の特徴などとの関わりに気付く。</p> <p>●\考える/ 歌詞の内容や旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 曲想の変化を生かして声を合わせて歌う。</p>	<p>◆曲想と音色や旋律、フレーズなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>①知【行動観察、発言内容】</p> <p>◆音色、旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思①【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②技【演奏聴取】</p>
いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら合奏しましょう。	◇エーデルワイス	3  4  5・6	<p>●\見つける/ 曲想と旋律の特徴との関わりに気付き、主な旋律を演奏する。</p> <p>●\考える/ 曲想や旋律の特徴を生かした演奏の仕方を工夫する。</p> <p>●\えんぞうする/ 楽器の音色や響きに気を付けて、互いのパートの音を聴き合いながら音を合わせて演奏する。</p>	<p>◆曲想と音色や旋律、フレーズなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③知・技【発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思②【発言内容、ワークシート、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④技【演奏聴取】</p> <p>◆自分の思いを音楽で表現することへの興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【行動観察、ワークシート】</p> <p>※第1時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>